

連盟通信えひめ

発行所

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL 089(923)1595

発行責任者 植岡道玄

ご挨拶

会長 植岡 道玄



紅葉の季節が毎年先送りの感があります。会員の皆様にはいつも連盟活動にご支援いただき感謝申し上げます。

今年は北京オリンピック、パラリンピックが盛況のうちに私たちを楽しませてくれました。しかしながら一方では石油の高騰が毎月の上昇に加え穀物の値上げによる食品等の物価高も不安材料です。農業による食の安心・安全が未だに我々の生活さえも脅かしていま

す。それになんといってもアメリカに端を発した世界金融危機はたちまちに全世界に及び株価の下落、食料危機、倒産にまで至っています。麻生内閣もこの危機的状況に補正予算が成立し、給油延長法案は衆議院を通過したことで一応の区切りはできたようです。しかし次回も自民党は逆風の中で厳しい選挙戦の様相を秘めていることは否めません。苦しい時代だからこそ本当の政策をよく聞いて一票を投じて欲しいものです。

さて、今年度の看護連盟の12支部にあつては事業活動、基礎研修、施設訪問など着々と進んでいます。基礎研修受講による修了証の発行数も増えており、現場の声からは離職に結びつく苦しい現状でも自分たちは頑張っていることや、連盟を理解できたという声も聞かれました。私たちの活動が本当に実を結ぶためには一人一人の理解にほかならないのです。特に今年はリーダーさんには頑張ってもらいたいとリーダー育成に力を入れていきます。今年も後わずかになりました。皆様のより一層のご活躍をお祈りいたします。

研修会のお知らせ

男性会員のつどい

日時 11月29日(土)13:30~15:30

会場 松山記念病院内

元 松精看護専門学校講堂

講演会のお知らせ

日時 平成21年4月18日(予定)

講師 (社)日本看護協会

常任理事

たかがい恵美子氏



東予地区新規入会者研修

参加者 114 名

バスの旅 ギャラリーしろかわ ~かまぼこ板の絵鑑賞~
ビデオ・クイズ・紙芝居で連盟を知る

日 時 平成20年9月6日(土)

新居浜 住友別子病院 8:00出発

西条 済生会西条病院 8:00出発 伊予灘サービスエリア ギャラリーしろかわ10:20着

今治 済生会今治病院 7:50出発

かまぼこ板の絵鑑賞 11:50昼食 13:30道の駅「ひじかわ」 各施設着15:40

研修に参加して

愛媛労災病院 川上 祥子

9月6日に東予支部の私達は南予にある「ギャラリーしろかわ」へ行きました。行きのバスでは役員の大先輩方が政治クイズをしてくださいました、お菓子もプレゼントしていただきバスハイクのように学生に戻った気分でした。その後ビデオを見て、看護連盟の活動内容を知りました。私たちも今は業務をこなすのが精一杯の毎日ですが、連盟の一員として「ベッドサイドから政治をかえる」というスローガンを頭に置き考えていきたいです。そして連盟の活動に参加したり、選挙に行ったりと自分のことからまず積極的に行っていきたいです。

「ギャラリーしろかわ」では、かまぼこ板の絵を見て仕事のことなど忘れ、絵を眺めながら感動したり笑ったりと楽しむことができました。日頃同じ病院で勤務が合わず、あまり会えない同期とも1日過ごし、いろいろな話をすることができました。他の病院の新人さんとも話す機会もあり、みんな同じ気持ちで今を必死に頑張っているんだとお互いに元気をもらうことができました。明日からまた気持ちを入れ替え頑張ります。

このような機会を与えてくださりありがとうございました。

研修に参加して

済生会今治病院 山岡 剛貴

今回看護連盟の新規会員研修に参加しました。当院の看護師だけでなく他の今治支部の新規会員の皆さんや役員の人と一緒に城川町にある「ギャラリーしろかわ」で、全国「かまぼこ板の絵」展覧会を見学しました。小さな美術館でしたが、かまぼこ板の絵は一枚一枚とてもユニークな発想の作品だったり、絵と言葉のコラボでは言葉に表せない感動を感じることが出来ました。また往復のバス車内の研修では、私達が入会した看護連盟について、設立目的や活動内容、また看護師の様々な条件を改善するためには政治力を持つ必要性を感じました。

私達も看護連盟の組織の一員として今後できる活動をしていこうと思います。

施設リーダーとして参加して

村上記念病院 日浅千代美

開催日:平成20年9月6日(土)

去る9月6日に東予支部新規入会者研修が行われました。今年で3回目となるこの研修は、西予市ギャラリーしろかわまでの日帰りバス研修です。私が参加した西条支部のバスには、植岡会長をはじめ新会員22名と役員・施設リーダーを合わせて35名が乗り込み、往復約3~4時間の車中研修を行いました。

車中では、大小の手作り紙芝居を使い、連盟のあゆみや活動について学習したり、ビデオ鑑賞やクイズ形式でも学習、また連盟活動の貴重な体験談の披露など、盛りだくさんの内容でした。

目的地のギャラリーしろかわでは、一枚のかまぼこ板に作者の生きざまや人生、さまざまな出会い、また幼子の澄んだ瞳に映った曇りのない風景などが描かれているのに感動を受けました。

今回、私は施設リーダーとして参加させていただきました。微力ながら企画の段階から関わらせて頂き、手作り紙芝居作成では、自施設のあらゆるスタッフを巻き込み巨大な紙芝居を作り上げました。当日は、緊張のあまり原稿を棒読みしてしまい、新人の方々へどれだけの事を伝えられたかは不安が残りますが、私のリーダーとしての連盟活動の第一歩となりました。

今後は、「アンフィニ」の如く無限に広がる人との出会いを大切にし、互いに助け合い協働しながら、ベッドサイドの声を政治に伝えられるように、連盟活動に携わっていきたいです。



中予地区新規入会者研修

参加者 52 名

目 的 新規入会者が看護連盟について理解を深め、継続的かつ積極的に連盟活動に参加するための動機付けを行う。

大島亀老山展望台とタオル美術館 ASAKURA ~ 愛媛の産業と自然にふれて ~
ビデオ、先輩のトークで学習

日 時 平成 20 年 9 月 6 日 (土)

松山市駅前坊っちゃん広場に集合 8:40 発 JR 松山駅前 8:50 発 R196 今治港

今治港発 10:30 フェリー 下田水港 (大島) 亀老山展望公園 (来島大橋展望) 来島海峡大橋

タオル美術館 ASAKURA 15:30 発 今治湯浦 IC 松山市駅 JR 松山駅



中予第三支部 支部長 永江 隆

中予地区の新規入会者研修会を、連盟の理解、連盟活動参加の動機付け、親睦、リフレッシュなどの目的で 9 月 6 日に日帰りバスツアーの方法で実施しました。市駅前と JR 駅前から 2 台のバスに分乗し、大島亀老山展望台、今治のタオル美術館を目指して 9 時前に出発。今治港に到着するまでの 1 時間余りの間に、それぞれのバス内で DVD 鑑賞と、鈴木第 1 支部長、巻田第 4 支部長が講義をしました。アンケート

によると、回答していただいた全員が看護協会と連盟の関係、役割などについて「理解できた」「かなり理解できた」「大体理解できた」のいずれかでした。すばらしい成果だと思います。

今治港からフェリーで大島に渡り、亀老山からの、来島海峡、しまなみ海道の眺望はちょっとしたパノラマでした。溜まっていたストレスを空と海に一気に解放したあと、バスで来島海峡大橋を渡ってタオル美術館に到着。美味しい昼食のひと時は、懇親、情報交換、先輩の経験談の拝聴など、新規会員の皆さんは、勤務では得ることのできないものを得る機会となったようでした。

美術館にはタオル美術以外に普通の絵画などの展示もあり、それらの鑑賞は感性を豊かにする一助となりました。往路にバス酔いの方もおられましたが、ほぼ予定通り 17 時前に無事帰着。収穫の多い一日でした。

残念な事は、参加施設が少ない事です。次年度以降、多くの施設から参加していただけるよう、努力したいと思います。

なお、この小文は参加者のアンケートを参考にさせていただきました。



南予地区新規入会者研修

参加者33名

目的 看護連盟について学び、お互いが交流して親睦を図る

日時 平成20年9月6日(土) 10:00～12:30

会場 ホテルクレメント宇和島

プログラム 10:00～あいさつ

10:10～講演 「連盟と協会の役割」～なぜ連盟が必要なの?～

愛媛県看護連盟 幹事長 有請千代美

DVD学習「ベッドサイドから政治を変える」

10:50～グループワーク

12:00～昼食 解散

「研修に参加して」

市立宇和島病院 谷口 優樹

私は、今回の研修に参加して、看護連盟の活動が私達、看護師の為にある事を知りました。そして、その活動結果が私達のモチベーションの向上に繋がり、それが患者様に対するケアの向上にも繋がる事を理解しました。

今まで、看護協会には入会していましたが、看護連盟が存在している事さえ知りませんでした。また、看護と政治が深い関わりにある事も知らず、積極的に選挙に参加した事はあまりありませんでした。今後、もっと広い視野を持ち、選挙にも参加して行きたいと思いました。

私が連盟の存在を知らなかったように、まだまだ連盟の活動・必要性を知らない人も多いと思います。今後、友人や職場スタッフにも声をかけ、選挙に参加し、自分ができる連盟活動を実施していきたいと思っています。

研 修 の ふ り か え り

看護協会と看護連盟の関係、役割について理解できましたか。

理解できた	19名 (58%)	かなり 理解できた	1名 (3%)	大体 理解できた	13名 (39%)	理解でき なかった	0名 (0%)
-------	--------------	--------------	------------	-------------	--------------	--------------	------------

看護連盟の必要性について理解できましたか。

理解できた	24名 (73%)	かなり 理解できた	2名 (6%)	大体 理解できた	7名 (21%)	理解でき なかった	0名 (0%)
-------	--------------	--------------	------------	-------------	-------------	--------------	------------

今後どのような活動をしていきますか。

- ・選挙では必ず投票する。
- ・連盟会員でない人に投票をお願いする。
- ・研修会に積極的に参加する。
- ・看護と政治の関係がわかり連盟活動の大切さがわかった。
- ・一人一人の力をあわせて組織としての働きを強くすることで現状を変えることができる。
- ・不満ばかりでなく、現状をよく理解し改善に向けて努力する。
- ・患者によりよいケアを提供するためにも知識を深めていかなければならないと思った。
- ・周りの人にも看護の現状を伝えていく。
- ・会員を増やす。
- ・自分の意見をしっかりと持ち、主張していく。

職場の声を聞かせてください。

- ・職員数がぎりぎり余裕がない。
- ・医師不足・看護師不足 (業務が時間内に終わらない 患者、家族に十分に関われない)
(各人の責任、ミスの恐怖が増している 休養がほしい 夜勤人数が少なく不安 7対1看護になっても患者対応が不十分)
- ・高齢者が安心して暮らせる社会を望む。老老介護、認知症介護で退院できない状況にある人たちの受け皿が必要

東予会員研修

日 時 平成20年7月26日(土)14:00~15:00

会 場 西条市西条国際ホテル

講 師 日本看護連盟 幹事 三原淳子先生

演 題 「看護連盟の必要性」 ~政治意識を高める~ **参加者** 113名



東予支部会員研修に参加して

済生会西条病院 三島 栄里子

7月26日、西条国際ホテルにおいて愛媛県看護連盟研修会が開催され、113名の出席がありました。講演は、日本看護連盟幹事の三原淳子先生を講師に招いて「看護連盟の必要性~政治意識を高める~」をテーマに行われました。

講演内容で、政治への関心度は年齢が上がるにつれ高まり、選挙投票率も40歳以上の方が平均を上げているとのことでした。看護職者の国政参加の必要性は83%が必要と感じているが、必要と感じない理由では看護職の地位の向上や労働状況の向上がみられないとの期待感の希薄さを感じられました。この期待薄を課題と考え、現場

の声を聞きだした中に、保育の問題・看護師不足・休暇がとれない・給料が安い・新人がすぐ辞めるなどの意見があり、そのような問題を解決していくには、制度を変えていく必要があります。現場で働く私たちがしなければならないことは、ひとりひとりの力は不十分であっても、看護連盟の活動内容や政治の意識を理解し、ひとりでも多くの会員が政治に参加することだと考えます。

今後、この研修で学んだことを職場で広め私たちの代表を国政の場へ送り出せるように努力していきたいと思えます。

中予会員研修

日 時 平成20年8月9日(土)13:30~15:30

会 場 松山市いよてつ会館

講 師 元佐伯市観光大使 矢野大和先生

テーマ 「笑って元気」 **参加者** 71名



平成20年中予会員研修に参加して

松山市民病院 瀧川 弘美

8月9日いよてつ会館において開催された、中予会員研修会に出席させていただきました。参加者は71名(OB会員を含む)でした。

講演のテーマは「笑って元気」。講師は、年間約400件ほど各地で講演されている元佐伯市観光大使で、宮司でもある矢野大和先生でした。

矢野先生の貴重な体験を、ユーモアたっぷりに、楽しく笑いながら、時間が過ぎるのも忘れ

て聞くことができました。

人と関わっていくなかで、言いかたにより、相手の受けとめかたが良くも悪くもなること、また相手の状況を判断し、その場の空気をよみ、言動のタイミングを図ったり、臨機応変に対応することの大切さを知ることができました。

また、「努力しても片付かないこと、どうにもならないことに時間をかけ、本当に努力しなければならないことに手を抜いていないですか」という問いかけに、振り返ると思い当たることがあり、胸に響きました。

最後に、「笑顔」があれば、それだけで十分であり、看護職はそれができる素晴らしい職であるということを知り、とてもうれしく思いました。

患者様や、共に働くスタッフへの気配り、心配りについて今回の講演を思い出しながら、頑張っていこうと思えます。

このような機会を与えていただきありがとうございました。



ユニフォーム紹介 愛媛大学医学部附属病院

今年からユニフォームが白からピンクになりました。薄いピンク色で、まるで桜の花びらのように優しい色です。病院が明るくなったと好評です。

若い看護師はもちろんですが、年齢を重ねた看護師も「似合っているよ」と言われると、思わずにっこり笑顔になります。

すてきなユニフォームに負けないよう、あたたかく優しい看護を提供できるよう頑張りますね。

熊 則子



「あべ俊子後援会」拡大活動参加報告

あべ俊子後援会拡大活動に参加して

南予第一支部長 内舩 眞知子

9月1日(月) 突然の福田総理辞任の発表があり、いよいよ総選挙かとマスコミがさわいでいたころ、岡山3区あべ俊子議員の後援会活動への参加要請が日本看護連盟石田幹事長からありました。

愛媛県としては、2008年2月、近年まれにみる大雪の日に活動参加以来2回目の応援です。

9月10日自民党総裁選挙告示の日に植岡会長をはじめ宇和島から2名、松山から1名の役員が愛媛を出発しました。10日は岡山泊、11日朝一番列車で津山へ向かいました。

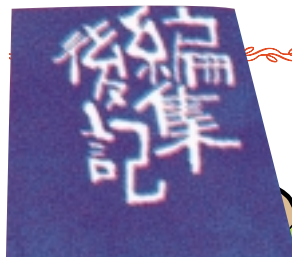
事務所であべ俊子議員から厳しい情勢であることをお聞きし、早速2台の車に2名ずつ分かれて、久米郡久米南町山手、峠といった正に地名の通りの集落を訪問しました。急傾斜の山道を登ったり下ったり、9月とはいえ、せみの声を聞きながら気温30度の炎天下の活動でした。

ところどころ廃屋もある地区を一軒一軒訪問しました。あべ俊子衆議院議員を知る人は少なく、参議院の女性議員と間違えられました。そこで訪問先では、名前を覚えていただくことに力を注ぎました。高齢者が多く、宇和島から応援にきたことなどお話をしているうちに打ち解けて話が長くなったり、看護師だった人もいて協力を約束していただいたり、資料をたくさん預かってくださったり、ほっとうれしい出会いもありました。

2日目も前日と同じように二手に分かれて、山間部を正午まで時間を惜しんで訪問しました。一人暮らしの方からとりたてのナスやきゅうりをいただいたり、励まされたりしながら、一人でも多くの人にあべ俊子議員を知っていただくための活動でした。

道端のお地藏さまに、あべ俊子議員の当選をお願いしました。

2日間で251軒のお宅を訪問し、心地よい疲れを感じながら津山を後にしました。



紅葉が美しい季節となりました。

スポーツの秋！読書の秋！食欲の秋！

何をしても実りのある季節です。

この充実したシーズンを思いっきり楽しみましょう。

編集委員一同

お詫びと訂正

前号70号の4P
新居浜支部 幹事 神野久恵

同じく5P
南予第二支部 幹事 曾根邦子(大洲中央病院)
お詫びして訂正いたします。